

## 令和7年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和7年5月11日（日）14時～15時30分
- 開催場所 布佐南近隣センター
- 参加者 市民13名
- 出席者 星野市長、高見澤企画総務部長、中光財政部長、  
海老原市民生活部長、大井環境経済部長、海老原建設部長、  
中場都市部長、担当課長等14名

### ●布佐南小学校の今後の活用について

市 民：布佐南小についてですが、直接市からの説明がなかったようですので、将来についての活用など説明してほしい。この地域は高齢化が進んでいるので、将来の地域生活もできるように進めてほしいと思います。こういったことについて、考えをお聞きしたい。

市 長：基本的には学校の施設の建設は市で行います。子供達の教育については、教育委員会で行います。これは、教育の効率性と中立性を保つために必要な措置であるのご理解いただいていると思います。布佐中、布佐小、布佐南小と合わせて一体型の義務教育学校を進めていく方針が教育委員会から出されました。9年間を一体的な校舎で進める設計で行っていく予定です。そこまでの説明は、布佐地区で行われたものと思っています。

布佐小学校の敷地に校舎を建て、布佐中、布佐南小の敷地については、今後検討していくこととなります。南小の体育館は避難所にもなっているため、改修工事をして残していく考えでおります。ただ、布佐小、布佐南小学校はすべての学年が1クラスです。中学校になって2クラスということで、初めてクラス替えがあったと聞いており、複数クラスは、子供達も違った環境になるので、必要ではないかと思っています。グラウンドや校舎の活用については未定で、文化で使うのか、校庭を含めてスポーツで使うのか、今年度からコンサルを活用して検討していこうと考えていたのですが、コロナ前と比べて物価、人件費など費用面で倍増しています。文科省は予算が無く補助金も少ない中で、湖北小学校の体育館がもらい火で焼けてしまい、市内で唯一、自分たちの体育館で入学式も卒業式も出来ない状況と

なっています。ですから、優先は、湖北小学校の体育館の再建になりますので、布佐地区の小中学校については、お時間をいただくこととなります。

布佐平和台は、高齢化が進んでいますが、元気な高齢者が多く、まち協と地区社協があって、連携して様々なイベントを行っているエリアであると認識しています。ここは大きな自治会がありますので、役割分担をして運営して欲しいと思います。また、この地区は障害者施設、高齢者施設、病院があります。ただ、阪東バスが撤退したことから、市民の足の確保のためには、絶対に路線バスの運行を維持していかなければなりませんので、現在市が支援を行っております。しかし、運転手が足りていない状況で、募集をしても来ないという現状だと聞いております。買い物については、移動スーパーなどがありますので、様々なものを活用して、生活が安定出来るよう、バス運行を維持していきたいと考えております。

市 民：南小学校について、自治会からの返答では、市の回答はないとのことでした。住民に対して、自治会を通してでもいいので、今後の説明をしてほしいと思います。

市 長：私も南小学校の説明会にいきましたから、教育委員会は保護者を中心に説明したものではないかと思われれます。今のお話は、教育委員会に伝えます。

### ●布佐地区のPRについて

市 民：今、南小の話がありましたが、より良い方向にということでありました。ただ、教育委員会と市民には距離があるようで、平和台の市民の中では不安が多いようです。南小学校は平和台が出来て最初にできた小学校です。強い思い入れがある方が多いと思います。また、高齢者が多い地域なので分かりやすい説明をしてほしいと思います。

市制施行 55 周年事業についてですが、どちらかと言うと手賀沼周辺がにぎやかになっていて、東側では、盛り上がりが見受けられません。布佐は、我孫子町の時は 1.5 倍の経済量がありました。以前は豪華列車も通っていて、旧井上家住宅が個人の持ち物の時には、かなりの来客がありました。布佐にはまだ観光資源がたくさんありますので、活性化されれば平和台にも波及すると思います。環境もいい地域です。ところが、鮮魚（なま）街道には説明パネルすらない状況ですので、もう少し布佐平和台地区が脚光をあびるようなものを考えてほしいと思

ます。

市長：我孫子には歴史がある学校が3つあります。布佐小、第一小、湖北小です。戦前は我孫子地区のほうに常磐線が通って、宿場町のはずれにできた駅周辺がだんだんと賑わってきました。布佐は、木下との境が分からないほど密接な関係がありました。鮮魚（なま）街道の表示については、教育委員会と相談させていただきます。旧井上家でのイベントについては、コロナで開催できませんでしたが、今は徐々に再開しています。以前、トイレが無かったため、一度に多くの人が入れないという欠点がありましたので、トイレを設置しました。ただ、やはり江戸時代の建物ですから、多くの人が入りません。杉村邸などは大正の建物であり、まだ多くの人が入れて、特に杉村楚人冠記念館では園庭の散策や、我孫子高校の学生によるお茶会も開催していて、いろんな形で利用者が増えてきている状況です。

手賀沼周辺につきましては、手賀沼水害を防ぐため、農地として干拓事業を国費を投入して行いましたので、制限があります。また、布佐の水害を防ぐために土地改良区のポンプの改良を行いました。あとは市境の国交省のポンプ、市が設置した内水を手賀川に出すポンプがあり、そのおかげでだいぶ水害が少なくなりました。そういった中で、布佐地区でのPRというのはなかなか難しいところがあります。手賀沼の水辺は千葉県の管轄で、手賀川は国交省ということで国の管轄です。沼っペリの土地については、我孫子・印西・柏の持ち物で、手賀沼・手賀川活用推進協議会を作っていて、一体的な運営を進めていましたが、コロナで活動が止まってしまいました。こういったことから、我孫子だけではなかなか事業が進まないもので、当然、旧井上家住宅単独であれば良いのですが、エリアとなりますと国、県、近隣の市と協議しなければ進みません。今後も広い視点で各管理者とも協議を行いながら、協力事業を進めていきたいと思っております。

### ●布佐駅前のスーパー誘致について

市民：深く厚くお礼を申し上げます。日常生活の中で一番困っているのは買い物です。布佐駅前にあったスーパーが昨年12月に閉店しました。今はバスで新木のカスミに行っていて、何とか生活は出来ていますが、布佐駅前のスーパーがなくなっていて困っています。高齢者ですので、スーパーナリタヤまで行くとなると足が悪くつらいです。布佐駅であれば近いので、散歩がてら行くことが出来ます。

何とかスーパーを布佐駅前建てるよう、誘致していただきたく、よろしくお願いいたします。

市長：以前も布佐駅前、つくし野、湖北のスーパーがなくなりました。職員が頑張っ  
て探して何とかありました。また布佐前はスーパーがなくなってしまいました。同じよう  
なご要望はいただいておりますので、何とか見つけていきたいと思  
います。それまでは、新木のスーパーや、移動スーパーを利用していただければと思  
います。移動スーパーは品数が少ないのですが、後ほど住所をお聞きして、その  
近くに出店できるか検討したいと思  
います。

### ●布佐の公園に咲く夾竹桃（キョウチクトウ）、けやきの伐採について

市民：布佐の第2公園についてです。夾竹桃という毒性の強い木が生えています。  
何十年も前から植えられて、私の背丈よりも大きいのが6本ありまして、市に伐採  
してほしいと要望しましたが、看板を立てるのみの対応でした。看板を立てれば  
良いということではなく、毒性があり地域では子供も集まるため、伐採をお願いし  
たいということです。それと、けやきも背が高くなっていて、近所の方が枯れ葉を  
処理しているのですが、高齢となってきたので、今後は難しいと思  
います。

市長：私も以前その話を伺っています。それにつきましては、職員が伐採しよう  
したら、近隣住民からの反発があり、切れなかったとのこと。もう少し周辺  
住民の方々と話をして決めていきたいと思  
います。毒性がある事は承知しています。  
周辺の実情が取れた後に作業をしていきたいと思  
います。

けやきについては、大きいから切るというのは違うと思  
います。秋には葉が落ちて大変というの  
はわかりますが、また周辺の皆様の意見と景観を含めて判断して  
いきたいと思  
います。

### ●岡田 武松先生の経歴等の周知について

市民：ふさの風近隣センターは、星野市長が命名しました。しかし、なぜ岡田武松  
先生の標識がないのですか。今年、昭和100年で、市制55周年です。気象研究  
を行っていて、地元へ貢献された方を広く、周知してほしいと思  
います。

市長：我孫子の偉人は理系が多いので、布佐では理系の教育を進めたいと、教育長と話していました。また、市民の方からは教師が我孫子の歴史を知らないから、子どもが我孫子の歴史を知らないのだと話す人がいました。私もそのとおりだと思います。先生も異動があり、業務に追われていて、歴史を学ぶ時間がないのかもしれない。私が小学校の授業を見に行った際、誤った我孫子の歴史を話していたという場面に会い、寂しい経験をしたことがあります。岡田先生は布佐の大切な先生であると理解していますので、子供達がきちんと理解して話ができるように先生にも指導を徹底してもらうよう、お願いしたところです。

### ●古墳土器などの展示、我孫子東高校前の街路樹の植栽、布佐小学校前の歩道拡幅について

市民：我孫子市の古墳土器などが公開展示されておられません。布佐南小のところに倉庫がありますが、常設でみんなが見れるところを考えてほしいと思います。出来たら、布佐南小学校が移転したら、一部展示場としていただきたい。

もう一点は、我孫子東高校の前の街路樹の桜が伐採され、植え替えるという看板がありましたが、なかなか進んでおられませんので、進捗状況を教えてください。

資料の P3 の布佐小学校への歩道拡幅についてですが、次に行く工事は県の仕事と聞きましたが、8 年度からということで中途半端です。千葉県と共同で一緒の時期にやらないと意味がありません。今の歩道の広さでは、傘をさして子どもが歩くと車にぶつかりそうなので、歩道の拡幅をしてほしいと思います。

道路課長補佐：我孫子東高校の桜については、入れ替え予定ですが、財政的に厳しいため、順次伐根や入れ替えを計画的に進めてまいります。市道と県道を同時期に整備するべきではとの質問については、市側の用地取得は順調に進みましたが、県側の用地取得に時間がかかっており、その用地取得を待っていると市側の工事も遅れていきますので、別時期での工事となりました。また、市道と県道では道路管理者が異なりますので、別々の工事となります。なお、県には歩道の拡幅工事をできる限り早く進めてほしいと伝えます。

市長：市道は地権者が 1 名でありましたので、交通渋滞の緩和と子供達の安全を考慮して、先に進めて終わりました。国道 356 号側に沿った場所は県道の拡幅工

事で、何名かの地主さんがいることから、交渉が中々うまく進んでいないと聞いています。東消防署までの工事はすぐには進まないですが、交渉ができたところから順次工事を進めていく状況です。こういったことで、8年度までかかってしまうと理解してください。

空き地の部分につきましては、学校敷地として購入して、修学旅行等での大型バスの停留所や平常時は保護者の駐車場、職員の駐車場として活用する考えております。また、宮ノ森公園へ向かう道路の拡幅用地としても一部活用していきたいと考えております。財源が異なり、県は県の持ち分の工事を行っていきますので、市と共同で工事が出来ないことをご理解いただきたいと思っております。

古墳については、南小の校舎でそのまま展示ができるスペースがあれば展示したいと思うのですが、校舎やグラウンドの活用の方向性が、まだ決まっておりませんので、協議を進めている状況です。方向性が決まりましたら、ご報告したいと考えております。

市 民：南小学校は、地域の思い入れがありますので、地域の歴史などを勉強できるような場所として、活用してほしいと思っております。

市 長：教育委員会にご意見を報告して、検討していくように伝えます。

### ●千葉北西連絡道路について

市 民：千葉北西連絡道路についてです。野田から印西の高速道路で、直接我孫子は関係ないと思うのですが、今後、どのようなスケジュールで進むのか。我孫子のどこを通るのか、我孫子にインターを作してほしいです。この資料ではなんのメリットもないようで、工事期間中の渋滞、騒音に悩まされるだけとなるのではないのでしょうか。

市 長：まだ具体的には決まっていますが、一つ構想のレベルが上がったと思ってください。国は今、湾岸道路は渋滞が激しいことから、第2湾岸道路を計画していて、それと同レベルに考えていると思ってください。ですから、国道16号の渋滞解消には北西連絡道路しかないと思国交省では考えているようで、外環道と圏央道の間にもう一本並行して道路をつくるようで、野田、柏、我孫子、印西をとおる予定

のようです。あくまでも予定です。現在、我孫子のどこを通るかわからないのですが、少なくとも我孫子の半分は通ると思われます。ただ、布佐から印西にかけては、どこを通るかは、わかりません。先ほどご質問されたように我孫子市内にインターを作ってほしいという要望は、私はしています。インターができることで、外環、常磐道、成田へのアクセスが良くなり、企業立地しやすくなるメリットが出来ます。北西連絡道路は、まずは464号に繋げるのが1期工事、2期工事は八千代に繋げること。ただ、いつごろから始めるかについては、どこを通るかが決まっていなくて、まだ用地買収が進んでおりません。今は意見を求める形での状況です。我孫子市としては、6号に近いところと、布佐に近い印西にインターを作ってほしいと考えていて、我孫子から2箇所インターにアクセスできる場所を要望しています。その際に、堤防の強化もお願いしています。国としては基本的に行う方針ですが、15年から20年後にどうかという国会答弁がありました。ですから、まだ先の話になります。現在、アンケートを実施しておりますので、ご意見をいただければと思います。

#### ●不妊治療の助成金、コロナワクチンについて

市 民：不妊治療の助成金についてです。特に卵子凍結について助成をお願いしたいと思っています。既に東京都では数年前から助成が始まっていて、地方等で格差がありますので、検討してほしいです。また、過去に個人で受けたものについても遡って申請できたらうれしいと思います。二つ目はコロナ対策についてですが、我孫子市では、コロナ対策の全体像を振り返りされているのでしょうか。期間中の超過死亡者数など個人ではどこで調べることができるのでしょうか。またワクチン接種ですけれども、国が発表したところでは、第1回接種が8割、第2回接種が7割というふうに聞きました。我孫子市ではどれぐらいの人がワクチンを接種して、市長も含め、職員の方々がどれぐらい接種したのか。教えていただきたいです。

市 長：不妊治療については、市の方でも着手し始めたところですがけれども、男性への補助や卵子凍結については、東京と比べられると厳しいです。東京都は、企業の本社が多くて、法人税などは東京都に入ります。我孫子市の NEC の法人税も東京都に入ってしまうわけですので、税収の面で東京都と比べられては、そうそう同じ

ような政策をとることは出来ません。ふるさと納税でもかなり税収が減っています。それをやめてもらえるだけでも、ほかに税を使えると思っています。

コロナ対策については、市の方では振り返りはしていません。超過死亡者数については保健所や厚労省のデータを見てもらうしかありません。確か接種率も、何回目までの接種しか掲載していないと思います。それも 5 類に移行する前で、後遺症については、コロナワクチンで重篤なものはなかったと理解しているところです。なお、こういったデータを公表するとなると個人情報にも関わり、取り扱いが厳しくなった今、具体的に公表してしまうと、個人を特定しやすくなってしまいます。あと、私は接種しましたが、全ての職員については、これは個人情報になりますので、把握はしておりません。